

文芸コーナー

**短歌**

雲の間に十三夜の月高く照りとほく救急車のサイレンきこゆ  
 小林 本間百々代  
 台風の予兆の雨に庭先のけいとうの赤色を増したり  
 木下 服部 富枝  
 日の落つる時の間空のひとつろ水色淡き雲ひとつ浮く  
 大森 安孫子正子  
 台風の過ぎしわが庭たけ高き紫苑はなべて茎折れて咲く  
 発作 腰川 昭子  
 鐘の音に誘はれれば桜門のめぐり狭めて彼岸花咲く  
 若萩 堀江 二雄

**俳句**

あれもせぬこれもせぬまの秋の暮  
 滝野 田波 英俊  
 敗荷へ風のひびきのほろほると  
 大森 吉田 弘子  
 踏みしめる落葉の底にいのちの音  
 小倉台 山田 明  
 調理場の仕事やか冬曙  
 荒野 岩井 珠世  
 枯蟪蛄狭庭の主になるそぶり  
 木刈 宮下 諄子

〈短歌・俳句をお寄せください〉  
 一人一首または一句で未発表のもの。毎月 20 日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

ほっとレポート



広報レポーター：瀧田 昭造 (滝野)

世代の絆をつなぐ「もといち祭」

開校百二十五周年を迎える歴史ある小学校で、高齢者の方や地域のみなさんとのふれあいを目的とした「もといち祭」を実施していると聞き、取材に伺いました。

ここは豊かな自然に包まれた「本埜第一小学校」(中根 1281-2)。「もといち祭」は同校で二十数年前から続けられているそうです。

まず、一、二、三年生の担ぐお神輿で会場を盛り上げ、宮腰校長先生のお言葉、児童たちの箏の演奏で幕開けです。



開幕を飾るお神輿が元気に入場

午前中のふれあいたイムは①昔の遊び、クロリティ(輪投げ)、②グラウンドゴルフ、③折り紙、④わら細工、⑤将棋、ゲームを体育館、教室に分かれて地域の高齢者から手ほどきを受けていました。昔の遊びだけでなくグラウンドゴルフなど近年高齢者に親しまれているものも一緒に体験していただきました。わら細工のコー



わら細工に挑戦する児童たち。今日は地元の高齢者のみなさんが先生です

ナーでは、わらを使って縄作りにも挑戦。中には、長く編んだわらひもでなわとびをする子もいました。子どもならではの発想にびっくりです。レポーターのわたしもわら編みを体験させていただきました。

昼食は、大きな鍋に P T

▶みんな食べた屋敷。温かい豚汁とまぜご飯に舌鼓



A のみなさんが作ってくれた豚汁を、体育館で車座になり、みんなでいただきました。午後は、各学年による学習発表です。子どもたちが



▲3年生の職業体験施設見学レポート(左)と1年生のミニゲームコーナー、各学級いずれも趣向を凝らした発表がたくさん

学んできたことを各学級で発表します。昔の学芸会のように他学年の児童、お父さん・お母さんも一緒に見学ができます。とある学年では、校外学習で訪れた、佐原の町並みや郷土の偉人・伊能忠敬についてクイズ形式で面白く紹介していました。

ある学級での出来事です。見学に来ていた弟と思われる四歳くらいの子がお兄ちゃんと遊びながら発表を見ていました。お兄ちゃんも発表を聞きながら弟の面倒も見る、なかなか光景を目にしました。昔の遊びでおじいちゃんとおばあちゃん、学習発表で親と兄弟とふれあい、地域のみなさんと絆を深めるお祭り「もといち祭」。そこに息づく温もりに触れた一日でした。

施設がいに

中央保健センター

中央保健センター(大森 2356-3)は、印西市役所に隣接する、市内初の保健センター。昭和54年4月の開所以来、地域のみなさんに親しまれてきました。

同センターは、デザインに国指定有形文化財「宝珠院観音堂(光堂)」のデザインを取り入れた外観が特徴。当時、国の施策の一つ「国民の健康づくり対策」の一環として、



▲「光堂」のデザインを取り入れた中央保健センターの外観

国と県の補助を受け、建設されました。

ところで、みなさんは「保健センター」と聞くと、どんなイメージが浮かびますか。一般的には「予防接種や健(検)診を受けるところ」というイメージが強いと思います。

事実、同センターでは乳幼児や大人の健(検)診を定期的に行っていますが、そのほかにも健康相談や母



▲1歳6カ月健診では内科健診(右)のほか、身体計測(左)、歯科健診、個別相談も実施

子手帳の受け付け、赤ちゃんのいるご家庭に訪問し、産後間もないお母さんの体調や気持ちに寄り添って育児の相談を行っています。

実際に行われた「1歳6カ月健診」をのぞいてみると、当日は27組の親子が来ており、ロビーは大盛況。順番待ちをしていたお母さんたちに、利用について感



想を聞いてみると「子ども同士のコミュニケーションができる貴重な場所です」「にぎやかで楽しい」という声が。

職員の平川保健師によると「こうした健(検)診は、医師・歯科医師だけでなく、保健師などさまざまなスタッフの目で子どもの発育や発達を確認できる機会なんです」とのこと。なるほど、歯科や栄養などの専門スタッフがそろって、保健センターならではの利点です。

また、保健センターの持つ大きな役割として「健康づくりの発信地」という位置付けがあります。

特に市では、平成16年度「25年を目標に、印西市保健計画『健康いんざい21』」を策定(平成25年度に改

リサイクル情報広場

掲載情報は11月29日現在  
☎クリーン推進課クリーン推進班(☎内線383)

- ◆ゆずりませ情報(有料の物は希望価格)
- ①プリンタ用インクカートリッジ②シングルベッド③犬の洋服④船穂中学校女子制服・ジャージ⑤スキー服(女性用)⑥パンツプレス⑦インクジェットプリンタ用インク7色(1千円)⑧アルトサックスホン(5万円・要相談)⑨しおん幼稚園帽子⑩千葉商科大学付属高校制服。

- ◆さがしています情報
- ①ボーイスカウトカブ隊の制服②わだ幼稚園男児、園服および体操服③ロックミシン④大森小学校の体操服⑤印西中学校の女子用制服と運動着⑥しおん幼稚園男児、女児用ジャージ、男児、女児用体操服(大きめサイズ希望)⑦天神幼稚園男児、女児制服、ブラウス等⑧犬用乳母車⑨補聴器。

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。



訂)。健康で明るく元気に生活できるまちを目指して、保健対策を進めています。

この「健康いんざい21」に基づき、同センターでもメタボリックシンドローム対策や栄養・食生活の指針、喫煙・アルコールについての相談など、さまざまな健康づくり事業を行っているのです。

『広報いんざい』でおなじみ「元気な食卓」のメニュー作成を行う地区健康指導員をバックアップするの同センターの役割。「食」から健康を考えることも重要な業務です。

このように、同センターに限らず、各保健センターは多様化するわたしたちの生活・健康づくりを支えてくれる、大切な施設なのです。

☎中央保健センター(☎425595)。